

箭田(敷)児童らと交流

日之出地区 スキー研修など

岡山県倉敷市箭田地区の小中学生ら約30人が3、4日、福井県を訪れ、スキー研修などで福井市日之出地区の住民と交流した。

両地区の交流は2004年度に同市で開かれた「まちづくり全国交流大会」をきっかけに始まった。各まちづくり協議会が主体となり、年度ごとに交互に訪問している。

3日は日之出公民館で歓迎式があり、地区の小中学生ら約30人が歓迎のメッセージを掲げて出迎えた。越前がにや水仙、福井国体マスケットはぴりゅうのイラストも披露した。この後、互いにまちの特徴を発表。箭田地区の

児童は、同地区がある倉敷市真備町生まれの奈良時代の右大臣吉備真備を紙芝居で紹介した。

箭田小5年の妹尾優里さんは「雪が多くてびっくり。初めてのスキーが

楽しみ」。日之出小6年の村上大仁君は「福井のいいところを伝えたい」と話していた。

両地区の住民は県立奥越高原青少年自然の家に宿泊。県立恐竜博物館に行ったり、スキー、ステイックリングを楽しんだりして親睦を深めた。

(大久保直輝)



交流する日之出地区と箭田地区の小中学生
＝3日、福井市日之出公民館付近